事業番号	05 04 01	事業改善シート(25年度実施事業分)	□予算要:	求	口当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名		——— 中国帰国者地域生活支援事業			部局	健康福祉部	
* * 1	中国邢国有地域生值又扳爭未			担 当	課∙室	地域福祉課	
纵入 上、力	プロジェクト			課	E-mail	<u>chiiki-fukushi@pı</u>	ref.nagano.lg.jp
総合5か年 計画	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり					
пп	旭泉の総合的展開	4 社会的援護の促進	実施期間		実施期間	S51 ~	

1 事業の概要

中国帰国者が高齢化する中で、老後生活を安心して送り、気軽に相談・指導や日本語教育が受けられる身近な市町村が主体となった 目指す姿 支援ができるようにすることを目指す。

戦後、幾多の困難と辛苦を経て祖国へ帰国した中国帰国者は、言葉や生活習慣の違いから孤立化する傾向にあるため、生活上の諸問題の相談や指導等を行い、地域において安心して穏やかに自立した暮らしができるよう支援している。 中国帰国者が少数の市町村に代わり、県が事業主体となり関係市町村と連携し事業に取り組んでいる。 現状

県が関与 する理由

事業内容

県でなければ実施不可(法令等義務)

【左記の説明、根拠法令等】

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律

県民との協働による実施:検討中

① 成果目標(H25)

中国帰国者支援相談員、通訳等を派遣し生活・就労等に関する相談・指導、長野県日中友好協会へ委託して行う日本語教室や交流 事業等の実施及び市町村担当者研修会の開催により中国帰国者の自立を支援する。

② 事業内容

(単位:千円)

項目	実施方法	H25事業実績		Н	H25	
7月	大旭万仏	1123 事業天順	(当初)	(決算)	(当初)	
中国帰国者支援相談	直接	帰国世帯に対する生活指導、相談、助言中国語会話のできる相談員を配置し支援	14,262	13,450	13,798	
市町村担当者研修会		市町村担当者の中国帰国者への理解を終 向上を図るため研修会を開催 委託先(長野県日中友好協会)	120	120	115	
日本語教育支援事業	委託	日本語学習の場を提供するため日本語教 委託先(長野県日中友好協会)	5,460	5,460	5,225	
給付金(日本語教室通所活動推進)	直接	日本語教室参加のための交通費及び教材	700	493	700	
通訳等派遣事業	直接	帰国者が地域社会で自立していくための 医療機関等へ通訳を派遣	2,919	2,012	2,919	
スクーリング事業	委託	通信教育を補完するため、対面授業を実 委託先(長野県日中友好協会)	397	397	397	
中国帰国者支援交流会	委託	帰国者の意見発表、全県レベルの交流会 委託先(長野県日中友好協会)	712	712	712	
			合計	24,570	22,644	23,866

	M	<u> </u>	分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	予算—		前年度繰越				
			当初予算	25,673	25,520	24,570	23,866
事			補正予算				
業			合計(A)	25,673	25,520	24,570	23,866
*			国庫支出金	19,821	19,804	18,826	20,218
□	AO.)	県 債				
7	ス	系	その他(雑入)	71	72	72	59
^			一般財源	5,781	5,644	5,672	3,589
١	決	筝	算 額(B)	24,266	25,107	22,644	
	概 第		職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
			概算人件費 (C)	8,258	8,258	8,258	8,258
	概算	概算事業費(B(A)+C)		32,524	33,365	30,902	32,124

成果目標の達成状況					
項目	H24末 <u>H25</u>		H25		
快口	(実績)	目標	成果	達成状況	目標
中国帰国者支援相談数	5,654件	6,000件	5,838件	未達成	6,000件
日本語教室参加者数	2,293人	2,000人	2,352人	達成	2,000人
通訳等派遣件数	763件	800件	875件	達成	800件

目標に対 する成果 の状況

中国帰国者支援相談数は、帰国者世帯が抱える個々の事情により増減するものであるため、結果として目標を下回った。

2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう にしていき たいか

□ 事業を実施しない	□ 事業を見直して実施	■ 事業を現行どおり実施
------------	-------------	--------------

中国帰国者の置かれた特別な事情に鑑み、日本語教室においては参加しやすい環境づくりに努め、相談及び通訳等においては帰国者のニーズに応じた助言等を行うことにより、安心した生活が送れるよう引き続き支援を実施していく。